

# 天然碎石による地盤改良工法 「HySPEED工法」を展開

有限会社 沼栄工業 (上北郡おいらせ町)

土木建築業として豊富な施工実績を持つ(有)沼栄工業(代表:沼端一彦氏)は、新たに碎石パイプによる環境配慮型の地盤補強「HySPEED(ハイスピード)工法」を手掛け、実績を高めている。同工法はハイスピードコーポレーション(株)(愛媛県松山市、<http://www.hyspeed.co.jp/>)から技術供与を受け、青森県内唯一の代理店として受注拡大を迎える段階にある。

人生で最大の買い物の一つマイホームを建てる際、家族が安全で健康的に暮らせることが誰しもの大きな関心事であろう。その根本がしっかりした地盤づくりであることは言うまでもなく、耐震性能やコストはもとより土壤汚染のない天然碎石を利用した地盤改良が注目を集めている。また、「地盤が軟弱な土地の改良費は売主側に負担する責任がある」という過去の判例から、販売・施工業者の側でも環境配慮、低コスト、短工期を兼ね備えた天然碎石工法への注目度が高まっている。

「HySPEED工法」は、ハンマー転圧機能で施工時間を大幅削減する独自技術「ピストンバルブ」を搭載した直径400mmのドリルで地盤掘削し、20~40mmの天然碎石を投入し側壁、底部の圧密を高めながら締め固め、軟弱な地盤の中でも摩擦抵抗の大きい頑丈な柱(碎石杭)を造る工法である。碎石杭を構築する段階で地盤そのものを強固にするため地震の揺れに強く、また、碎石パイプ自体が水を通して水圧を逃す効果があり、地震による液状化を事前に食い止めることもできる。先進性のある高品質の工法として(財)日本建築総合試験所GBRC性能証明(第09-20号)を取得するほか、国交省管轄の新技術情報提供システムNETISにも登録している。

環境面では、セメントを使った地盤改良では発がん性物質の六価クロムが発生する可能性があると言われ、こうした汚染物質の浄化義務あるいは資産評価維持の観点からも「HySPEED工法」の有意性が窺えよう。また、施工後の地盤保証も各保証会社から認定を受けているという。

土壤汚染することなく地盤改良できる画期的工法として全国レベルでは採用が急増しており、戸建住宅以外の建築物にも対応範囲を広げ青森県下において今後の普及促進が期待される。



## 企業概要

企業コード: 110207484

商 号: 有限会社沼栄工業

資 本 金: 500万円

代 表: 沼端 一彦 氏

本 店: 青森県上北郡おいらせ町東後谷地38-2

電 話: 0178-52-2823

創 業: 1995年1月

設 立: 2005年5月